

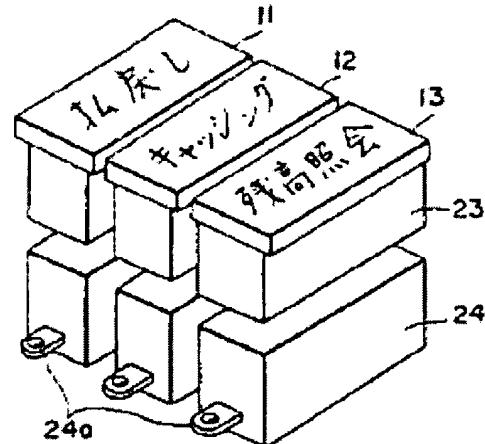
TRANSACTION SELECTING DEVICE FOR AUTOMATIC CASH PAYING MACHINE

Patent number: JP2186474
Publication date: 1990-07-20
Inventor: KAWAGUCHI AKIHIRO
Applicant: NIPPON ELECTRIC ENG
Classification:
- **international:** G06F3/02; G06F3/02; (IPC1-7): G06F3/02; G06F15/30
- **european:**
Application number: JP19890004818 19890113
Priority number(s): JP19890004818 19890113

Report a data error here**Abstract of JP2186474**

PURPOSE: To select a desired transaction subject and to easily execute start operation by arranging plural switches with lamps corresponding to the transaction subjects and pushing down the switch with lamp to display the transaction subject desired by a customer.

CONSTITUTION: The transaction subject switch desired by the customer is pushed down. For example, when the desired subject is pay-back, a pay-back switch 11 is pushed down. A contact 24a of a switch 24 linked to a lamp box 23 of the switch 11 is closed and an automatic cash paying machine identifies the transaction subject desired by the customer. When the central processing unit of the cash paying machine identifies the transaction subject desired by the customer, the lamp of the switch of the unselected transaction subject, a cashing switch 12 in this case, and the lamp of a balance collation switch 13 are turned off. Until transaction is completed, the transaction subject desired by the customer, the pay-back in this case, is displayed. Thus, even for an untrained person, it is decreased that an operating method is not understood and that the use of the cash paying machine is kept at a distance.

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide**BEST AVAILABLE COPY**

⑫ 公開特許公報 (A) 平2-186474

⑬ Int. Cl. 5

G 06 F 15/30
3/02

識別記号

3 2 0
Z
3 7 0 B

府内整理番号

6798-5B
6798-5B
6798-5B

⑭ 公開 平成2年(1990)7月20日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑬ 発明の名称 現金自動支払機の取引選択装置

⑭ 特 願 平1-4818

⑭ 出 願 平1(1989)1月13日

⑬ 発明者 川口 明洋 東京都港区西新橋3丁目20番4号 日本電気エンジニアリング株式会社内

⑭ 出願人 日本電気エンジニアリング株式会社 東京都港区西新橋3丁目20番4号

⑭ 代理人 弁理士 渡辺 喜平

明細書

払機の取引選択装置に関する。

[従来の技術]

現金自動支払機、いわゆるキャッシュディスペンサは、現金の払出し専用機であるが、顧客が有する預貯金口座からの現金の払出し、残高照会以外にも最近は現金を借りるための機器として普及してきている。

顧客が上述のような複数の機能を有する現金自動支払機器を使用する場合、自分の預貯金口座から引出しを行なうのか、その口座の残高を見るのかまたは貸し出しを受けるのかによる取引選択が必要となる。

従来の現金自動支払機の取引選択装置では、数字入力キーの近傍に、取扱科目が刻印されたキーを配置しておき、これらのキーの該当するものを押し下げるようになつたり、操作案内用のブラウン管表示の上にタッチパネルを設け、ブラウン管に表示された取扱科目の該当箇所に触れることによ

1. 発明の名称

現金自動支払機の取引選択装置

2. 特許請求の範囲

現金自動支払機の操作ステップと、操作内容を顧客に案内するための複数のコマで構成される操作案内表示盤を備えた現金自動支払機の取引選択装置において、前記操作案内表示盤の第一コマに、現金自動支払機の取扱科目に対応する複数個のランプ付きスイッチを配し、顧客が希望する取扱科目を表示した前記ランプ付きスイッチを押し下すことにより、希望する取扱科目を選択可能としたことを特徴とする現金自動支払機の取引選択装置。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は、金融機関等で使用される現金自動支

り、取り扱い科目を選択するようにしていた。

また、取扱い科目も少なく、操作ステップも少ない現金自動支払機では、取引を完了するまでに顧客が行なわねばならない一連のステップを表示する第4図に示すような操作案内盤10を採用したものがある。

この操作案内表示盤10は、操作すべきステップとしてカード挿入ステップ3、暗証番号打鍵ステップ4、金額打鍵ステップ5、コンピュータ処理ステップ6、カードレシート受取りステップ7、紙幣受取りステップ8の各コマを備えており、各ステップを示す各コマは内部に設けられたランプにより表示内容が浮き出されるため、顧客が何をすべきかが明確に表示される。

【解決すべき課題】

しかしながら、このような操作案内表示盤10を採用した現金自動支払機でも、取引選択のための取扱い科目は数字キーの近傍に設けられて

いる。

したがってこの種の現金自動支払機の操作に不慣れな顧客は、操作案内表示盤で操作順序を理解した後、希望する取扱い科目を選択するため、該当するキーを探すことを行なわねばならない。このため、現金自動支払機の利用に時間を要し、その結果、顧客が利用を敬遠することになるという問題があった。

本発明は上述した問題点にかんがみなされたもので、操作に不慣れな顧客でも利用する際の操作を容易にし、操作法が解らずに利用を敬遠してしまうことをなくすことができる現金自動支払機の取引選択装置の提供を目的とする。

【課題の解決手段】

上記目的を達成するために本発明は、現金自動支払機の操作ステップと、操作内容を顧客に案内するための複数のコマで構成される操作案内表示盤を備えた現金自動支払機の取引選択装置において

て、前記操作案内表示盤の第一コマに、現金自動支払機の取扱い科目に対応する複数個のランプ付きスイッチを配し、顧客が希望する取扱い科目を表示した前記ランプ付きスイッチを押し下げすることにより、希望する取扱い科目を選択可能とした構成としてある。

【実施例】

以下、本発明の一実施例について図面を参照して説明する。なお、従来と共通する部分には共通する符号を付して説明する。

第1図は本発明の一実施例に係る現金自動支払機の取引選択装置の操作案内表示盤1を示す平面図で、図において2は取引選択ステップ、3はカード挿入ステップ、4は暗証番号打鍵ステップ、5は金額打鍵ステップ、6はコンピュータ処理ステップ、7はカードレシート受取りステップ、8は紙幣受取りステップの各コマで、取引選択ステップ2を除いては従来と共通している。

第2図は操作案内表示盤の第一コマである取引選択ステップ2の構造を示す分解斜視図で、図において、11は払い戻しスイッチ、12はキャッシングスイッチ、13は残高照会スイッチで、それぞれ標記の取扱い科目を指示するランプ付きスイッチである。

第3図は、共通する断面構造を有する払い戻しスイッチ11、キャッシングスイッチ12及び残高照会スイッチ13の断面図で、図において21は取扱い科目が記入されている表示盤、22はランプ、23はランプボックス、24はスイッチ、24aは接点、25はスプリングである。

取扱い科目表示盤21は、ランプ22が点灯することにより表面に記入された文字が浮き出し、現在取扱い可能な科目を表示する。

次に、本実施例における顧客の行なう操作を説明する。

顧客が操作を始める前には取扱い可能な科目全

部のランプ付きスイッチのランプが点灯しており、顧客は取引可能な科目を操作案内表示盤1の第一コマを見ることにより知ることができるようにしておく。

まず、顧客が希望する取扱い科目のスイッチ、例えば払い戻しが希望する取扱い科目であれば払い戻しスイッチ11、を押し下げると、払い戻しスイッチ11のランプボックス23に連結されたスイッチ24の接点24aが閉じ、現金自動支払機は顧客が希望した取扱い科目を識別することができるようになる。

顧客が希望した取扱い科目を現金自動支払機の図示せぬ中央処理装置が識別すると、選択されなかった取扱い科目、この場合キャッシングスイッチ12及び残高照会スイッチ13のランプ22を滅灯することにより取引が完了するまで顧客の希望した取扱い科目を表示しておけるようになる。

そして、現金自動支払機の制御は、次にカード

挿入ステップ2以降へと進む。

【発明の効果】

以上説明したように本発明は、現金自動支払機の操作案内表示盤の第一コマに取引選択機能を持たせることにより、顧客が現金自動支払機を利用する際のスタート操作を容易にし、不慣れな人が、操作法が解らずに利用を敬遠してしまうことを減少させることを期待できる効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す操作案内表示盤の平面図、第2図は取引選択ステップのコマの分解斜視図、第3図は第一コマが内蔵するスイッチの断面図、第4図は従来の操作案内表示盤の第1図相当の平面図である。

1：操作案内表示盤

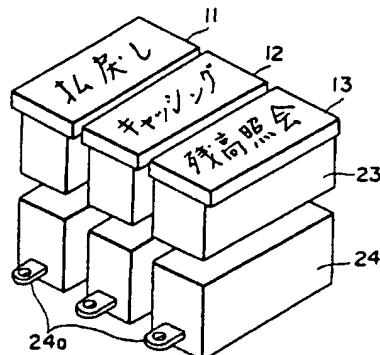
2：取引選択ステップのコマ

3：カード挿入ステップ

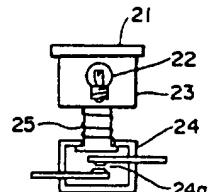
- 4：暗証番号打鍵ステップのコマ
- 5：金額打鍵ステップのコマ
- 6：コンピュータ処理ステップのコマ
- 7：カードレシート受取りステップのコマ
- 8：紙幣受取りステップのコマ
- 11：払い戻しスイッチ
- 12：キャッシングスイッチ
- 13：残高照会スイッチ
- 21：表示板
- 22：ランプ
- 23：ランプボックス
- 24：スイッチ
- 25：スプリング

代理人弁理士 渡辺喜平

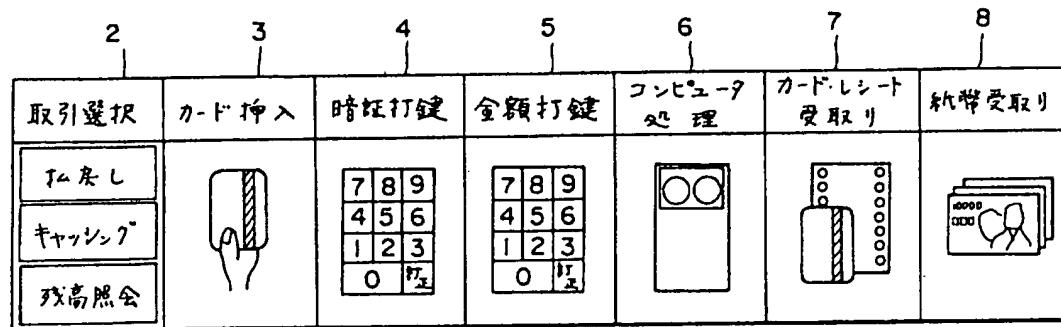
第2図



第3図



第一図



第4図

